



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2011. 6月号



およそ一年前の2010年6月13日、7年の旅路を終えた小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還しました。その様子はインターネットなどで中継され、大きな反響を呼んだことは記憶に新しいところです。

プラネタリウムリニューアル後の投影第一弾は、その「はやぶさ」の物語。2009年にも投影をおこなった「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の帰還バージョンです。実際の「はやぶさ」帰還を受けて、「はやぶさ」の帰還シーンがよりリアルに再現されたのに加え、新たなシーンも追加されました。平塚市博物館プラネタリウムでは、新しくなったビデオプロジェクター2台で、以前より鮮明で迫力のある映像を楽しむことができますようになりました。太陽系誕生の謎をさぐる「はやぶさ」の波乱万丈の旅路を、臨場感あふれるフルドームCG映像でお楽しみいただけます。ご期待下さい。

6月18日からは、午前11時の回(日曜日のみ)と午後2時の回は星座解説と「HAYABUSA」ショートバージョンを、午後3時30分の回は「HAYABUSA」ロングバージョン(星座解説なし)をご覧ください。

*6月5日までのプログラムは5月号をご覧ください。

■6月18日からの投影時間と内容(7月10日まで)

	土曜日	日曜日
午前 11:00	すいせいゴエモンのぼうけん	HAYABUSA
午後 2:00	HAYABUSA	HAYABUSA
午後 3:30	HAYABUSA (星座解説はありません)	HAYABUSA (星座解説はありません)

■観覧料 一人200円(18才未満・65才以上無料)

※電力事情等の状況によっては投影できない場合があります。

プラネタリウム幼児向け投影 「すいせいゴエモンのぼうけん」

土曜日11時のプラネタリウムは「すいせいゴエモンのぼうけん」。幼稚園・保育園など団体向けの投影で大人気のプログラムを、一般向けに公開しています。遠くて暗



い太陽系のかなたから、小さな天体のゴエモンが旅立ち、立派な彗星に成長するお話。楽しみながら天体の知識を学んでしまいましょう。

→ 期間：7月16日(土)～9月4日(日)

夏期特別展

いつもとちがう散歩道 —まちかどの自然観察—

プライベート

参加者募集中

☆みんなで作る特別展☆ 君も特別展に参加しよう!

その1「アンダーグラウンド☆砂浜の生きものを調べよう」
穴を掘って砂浜の中に棲む生きものを調べ、紹介ポスターを作ります。作ったポスターは夏期特別展会場で展示します。

日時：6月25日(土) 9時50分～15時

場所：虹ヶ浜

講師：倉持卓司氏

定員：15名(多数の場合抽選・小学生以下は保護者同伴)

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、6月10日(金)までに申し込み。



この時は→

←こんなのが入ったよ!



その2「生きものモビールで会場を飾ろう」
展示会場の入り口を飾るモビール(つるしびな型)をつくりまします。テーマは『生きもの』。工作好きのみんな、集まれ!作った作品は展示が終わるまで展示室で展示します。

日時：7月9日(土)10日(日) 10時～15時

場所：博物館科学教室

対象：小中学生・一般(小学生以下は保護者同伴)

定員：各日20名(小中学生優先・多数の場合抽選)

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、6月29日(水)までに申し込み。



↑工作の得意なYさんの作品。
みんなも自由に作ってね。

↑試行錯誤中のSさんの作品。
奥のはクラゲかな?

お願い：博物館で用意できる材料には限りがあります(紙や色鉛筆など)。毛糸やビーズ、布などの材料を使いたい方はご持参ください。

プラネタリウム三代記

6月18日(土)～7月28日(木)
1F 寄贈品コーナー展示

いままでのプラネタリウムの姿とは大きく変わった新投影機「PANDORA」。驚かれた方も多いでしょう。

南北に分割されていた恒星球がひとつになり、惑星棚は別配置になりました。初代投影機「GX10-T」、二代目「G1014」、そして三代目「PANDORA」と、平塚市博物館の三代にわたるプラネタリウム投影機の変遷を追い、新しいプラネタリウムの形が求めたものを解説します。

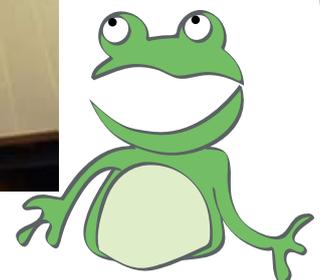


上：GX10-T(初代)

左：G1014(二代目)



左：PANDORA(三代目)



春期特別展「深海から生まれた湘南」大盛況で閉幕！

4月1日にオープンした特別展「深海から生まれた湘南」は、東日本大震災による関心の高まりもあって、大盛況のうちに幕を閉じました。計画停電により日程を変更したにもかかわらず、4月24日午後に行われたサイエンスセミナー「伊豆弧から生まれた湘南」、5月15日午後に行われた「特別展展示解説と深海相模湾映像上映」には、いずれも、150名近い聴講者がみえ、会場に入りきれないほどで、関心の高さがうかがわれました。

「サイエンスセミナー」では、講師の先生から今回の地震についての解説もあり、予定時間をオーバーしても熱心に最後まで聴講されていました。「展示解説と上映」では、展示室内では解説できず、講堂にて映像を使って解説し、終了後も展示室内で1時間に亘ってそれぞれの質問に答えました。来館者も展示を熱心に観ていられる方が多く、図録も完売しそうな勢いです。また、前回の特別展「平塚周辺の地盤と活断層」の図録や地盤図も大変好評です。



4月24日のサイエンスセミナーでの講演



5月15日の展示解説

こどもフェスタ2011も大盛況！

5月7日(土)に開催した「こどもフェスタ2011」、悪天候での開催でしたが、過去最高の1400名を越える行事参加者で盛り上がりました。

今年で6回目を迎え、ゴールデンウィークの終盤に家族で気軽に楽しめる行事として定着してきた「こどもフェスタ」ですが、「作って食べよう！草の花だんご」などの新行事も登場し、「来年も参加したい」との声も多く、好評のうちに終了することができました。

今年参加された方も、参加できなかった方も、来年度もまたお待ちしております。



博物館内古民家での「むかしの子どもあそび」ではこま回しやお手玉で遊びました。

博物館資料のくん蒸作業のため休館します 休館期間:6月6日(月)～6月17日(金)



地域資料が保管される収蔵室(第2収蔵室)

博物館は地域のアルバムともいえます。博物館が所蔵する資料は、いわば家族にとっての家族写真であり、地域の記憶を伝え、地域のこれからを考えるための大切な財産です。この資料を虫やカビの害から守るために、必要に応じて「くん蒸」という作業を行なっています。資料に対しては影響の少ない薬剤によって、殺虫殺菌処理をするものです。

これにともない、6月6日(月)から17日(金)の期間を休館とさせていただきます。休館中、館内への立入はできませんが、電話やメールでのお問い合わせには応じることができます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

6月

2	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室	[HAYABUSA] 寄贈品コーナー「新資料展(人文)」
3	金	古文書講読会	講堂	
4	土	お囃子研究会	講堂	
5	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂	
6	月	休館日		
7	火	燻蒸休館		
8	水	平塚地質調査会	工作室	
9	木	燻蒸休館		
10	金	燻蒸休館		
11	土	燻蒸休館		
12	日	星まつりを調べる会「子の神社」	湯河原町	
13	月	燻蒸休館		
14	火	燻蒸休館		
15	水	燻蒸休館		
16	木	展示解説ボランティアの会	館外	
17	金	平塚地質調査会	野外	
18	土	相模川の生い立ちを探る会	科学教室	
19	日	地域史研究ゼミ	特別研究室	
20	月	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
21	火	平塚学講座「開講講義」	講堂	
22	水	水辺の楽校生きもの調べの会	野外	
23	木	ろばたばなし	相模の家	
24	金	平塚の遺跡を歩く「岡崎城と城所城」	野外	
25	土	平塚学講座「身近な植物に親しもう」	野外	
26	日	休館日		
27	月	休館日		
28	火	休館日		
29	水	休館日		
30	木	休館日		

7月

1	金	古文書講読会	講堂
2	土	星を見る会「七夕の星を見よう」	野外
3	日	天体観察会「七夕の星を見よう」	野外
4	月	相模川の生い立ちを探る会	野外
5	火	お囃子研究会	講堂
6	水	水辺の楽校生きもの調べの会	野外
7	木	平塚の古代を学ぶ会	講堂
8	金	休館日	
9	土	平塚地質調査会	工作室
10	日	古文書講読会	講堂
11	月	古代生活実験室	科学教室
12	火	星まつりを調べる会「調査まとめ「星の動き」	特別研究室
13	水	ろばたばなし	相模の家
14	木	「生きものモビールで会場を飾ろう」	講堂
15	金	「生きものモビールで会場を飾ろう」	講堂
16	土	休館日	
17	日	石仏を調べる会	土屋
18	月	古文書講読会	講堂
19	火	平塚地質調査会	野外
20	水	ろばたばなし	相模の家
21	木	休館日	
22	金	裏打ちの会	科学教室
23	土	民俗探訪会	鎌倉市
24	日	夏休み体験学習「縄文土器を作ろう」	科学教室
25	月	夏休み体験学習「縄文土器を作ろう」	科学教室
26	火	古文書講読会	講堂
27	水	平塚学講座「原始古代の相模と平塚」	講堂
28	木	休館日	
29	金	入門講座「貝化石を調べよう」	野外
30	土	石仏を調べる会	特別研究室
31	日	入門講座「貝化石を調べよう」	科学教室
		星を見る会「夏の夜空に親しもう」	科学教室・屋上
		地域史研究ゼミ	特別研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
		天体観察会「学習とスターウォッチング」	科学教室・屋上
		天体観察会「スターウォッチング調査」	科学教室・屋上

「すいせいゴエモンのぼうけん」7月10日まで
[HAYABUSA-BACK TO THE EARTH] 7月10日まで
寄贈品コーナー「プラネタリウム三代記」7月28日まで
「すいせいゴエモンのぼうけん」7月10日まで
「プラネタリウム 銀河鉄道の夜」(完全版) 7月16日～9月4日
夏期特別展『いつもとちがう散歩道～まちかどの自然観察～』7月16日～9月4日
寄贈品コーナー「平塚空襲展」

☆:展示・方祿カム ○:申込制行事 ◎:参加自由 無印:年間会員制

展示とプラネタリウム

☆寄贈品コーナー「プラネタリウム三代記」
内容:博物館のプラネタリウムの変遷をたどります。
会期:6月18日(土)～7月28日(木)
会場:1階寄贈品コーナー
※詳細は本紙2頁をご覧ください。

<プラネタリウム>

☆プラネタリウム番組「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH (帰還バージョン・ディレクターズカット版)」
※詳細は本紙1頁をご覧ください。
☆プラネタリウム幼児向け投影「すいせいゴエモンのぼうけん」
※詳細は本紙1頁をご覧ください。

行事参加者募集

<申込制の行事>

○平塚の遺跡を歩く「岡崎城と城所城」
内容:岡崎地区から城所地区まで遺跡や地形をみながら歩きます。
日時:6月19日(日)午前10時～午後3時
定員:15人(多数の場合抽選)
申込:往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、6月11日(土)までに申し込む。

○夏期特別展『いつもとちがう散歩道～まちかどの自然観察～』みんなで作る特別展 その1
「アンダーグラウンド☆砂浜の生きものを調べよう」
※詳細は本紙2頁をご覧ください。
○夏期特別展『いつもとちがう散歩道～まちかどの自然観察～』みんなで作る特別展 その2
「生きものモビールで会場を飾ろう」
※詳細は本紙2頁をご覧ください。

<自由参加の行事>

◎ろばたばなし
内容:民家のいろいろばたで昔話を語ります。
日時:6月19日(日) (1)午後1時30分、(2)午後3時
場所:展示室1階「相模の家」
参加:自由

あなたと博物館 39巻3号 通算414号 発行 平塚市博物館 2200
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/